

幼稚園だより

たぬきを見てきてね!



幼稚園の子ども達が世界に一つだけの自分の「たぬき」を作りました。西栗倉のキャラクターであるたぬきを、あわくら温泉駅やバスの運転手さんの金沢さんの家に見に行かせてもらいました。「たぬきのお腹は大きいなあ」「タオルかけてお風呂に入ってるで」と真似をしながらペタペタ触ったり、抱きついてみたりして遊びました。園に帰ってきて、見てきたたぬきを思い出しながらさっそく紙粘土でこねたり、丸めたりしてもくもくと作りました。かわいたたぬきの貯金箱が完成し、保護者の方にすてきな標語も書いていただきました。ふれあい祭りでも幼稚園のコーナーで見ていただいたと思いますが、11月の中旬より、役場や郵便局などいろいろな公共施設に置かせていただきたいと思います。かわいいたたぬきを見に行ってくださいね。

楽しく遊んでいます



幼稚園の子どもたちは毎日楽しく元気に遊んでいます。お寿司屋さん花屋さん服屋さん、アクセサリーなどを作ったり、大縄跳びやじんとり、転がしドッチボールなどで体をしっかり動かして遊んでいます。また室内では大工さんからいただいた木切れを使ってドミノをしたり、友だちと相談しながら工夫して高く積み上げたり、迷路のようにおもしろくなげたりと繰り返し遊んでいます。どんどんイメージをふくらませながら子どもたちは、大人から見ても感心するくらい木切れを上手に使ってとっても楽しく遊んでいます。福井 勝巳さんたくさんの木切れをありがとうございました。

小学校だより

楽しかった秋

秋にはたくさん行事や勉強があり、一年生にとっては新鮮な体験の連続でした。習得したひらがなやカタカナ、漢字を使って、楽しかったことを自分で選んで書きました。

いもほりしゅうかいのとき、さいしよは出てこなかったけど、おくおくほっていったらどんどん出てきました。はづきさんに、「スコップのトンがっているところではたらきずがつくよ。」と、やさしくおしえてもらいました。いもほりはほんとうにたのしかったです。三こともってかえたら、おかあさんが、「これかのがほったん、すごいな。」とほめてくれました。(えんどうかのん)

学校からおおずきのみをもってきたら、おかあさんもしっていたから、おかあさんにやわらかくしてもらったよ。とるとき、四こしっぱいしたけど、二こせいこうしたよ。中をほり出してみずであらってみたら、中からどんどんたねが出てきたよ。さっそくふくらませてみたら、二こともふくらんだよ。口の中であらそうとしてみただけ、なりませんでした。(かつらはのか)

かのんさんがもってきてくれたどんぐりで、ずこうのじかにどんぐ

りごまをつくってあそびました。じぶんでつくったのがよくまわったので、うれしかったです。どうぐはつまようじです。どんぐりのおしりにつまようじをさしたら、しるがいはばいできてきました。

(くまもとりょう)

ずこうでやじろべえをつくりました。あなをあけるときはむずかしかったけど、できたときはおもしろかったです。ゆびにのせてあそびました。おちなかったのがすごかったです。いろんなところにおいてもおちなかったです。バランスがよくとれました。おもしろかったです、またつくりたいなりました。

(しみずりゅうじ)

いもほりがたのしかったです。おもしろいわたちのいろいろないもがありました。どうぶつのかたちのいももありました。わたしは、ほるとき、でほりました。ときどき先生にスコップでほってもらいました。そうしたら、いもがわれてしまいました。ざんねんでした。いもが三ことれました。(しらはたせりな)

やじろべえをつくってたのしかったです。むずかしかったけど、たのしかったです。あなをあけるととき、ねんどにどんぐりをさしこんで、せんまいどおしであなをあけました。ななめにしないとバランスがとれなくなります。ゆびにのせると、たおれませんでした。せいこうしました。(ながのたいち)

きょうとフィルのとき、「そらとかぜのきつぷ」や「音がくのおくりもの」をうたいました。いろんながつきとうたって、がつきはきれいな音だとおもったよ。ぼくは、きれいなこえでうたいました。いっしょにうたってうれしかったよ。
(はやしとうしん)

いもほりをしました。でっかいいもをほりました。とるときに、とりにくかったから、いぬみたいにほりました。すごいでかいさつまいもがとれました。きょうしつの花びんみたいでかくて、びっくりしました。いっばいとれてうれしかったです。
(まさひさはると)

中学校だより

学級弁論大会より

「持つべきもの」三年 江見 彩樹

みなさんには、本音で語り合える人はいいますか？素の自分を見せられる人はいいますか。

今年の九月十七日に行われた合同運動会は、大成功だったと思います。しかし、本番までには、とても大きな壁にぶつかることもありました。

夏休みに入ると、フォークダンスの実行委員の人は、毎日のように学校に通いました。私もその一人で、夏休みを返上して頑張りました。

ソーラン節の実行委員会では、まず自分たちが一、二年生や、実行委員に入っていない三年生に踊りを教えられるように、ビデオを見て振り付けを覚えめました。今年は、南中ソーランに加えてよさこいソーランも取り入れることになりました。去年より覚えることがたくさんあって、最初はとても不安でした。

実際にやってみると、本当に頭がパンクしそうでした。毎日のように五百ミリリットルの水とタオルだけを持ち、学校で隊形の構成を考えたり、踊りの細かい所の打ち合わせをしたりしました。そして、無事、振り付けをマスターすることができ、隊形も考え終わり、二学期までにあと六日というときに、事件は起こりました。

八月二十六日、私たちはいつものように集まり、あと八日ということでした。踊りや隊形の最後の確認をしていました。しかし、隊形の中の自分の位置がいやだという意見が出ました。その人は最初、ふざけ半分で言っていたようなので、私や他の人は、「無理」と断っていました。しかし、その人がいやだと言っていたことには、ちゃんとした理由があったのです。

それなのに私たちが理由をちゃんと聞かなかったもので、その人は怒って帰ってしまいました。そのときの私たちは、その人のちゃんとした理由というのを知りませんでした。ですから、なんで怒って帰ったのかわからない私たちは、その人に対してすごく腹を立てました。そして、その人は帰った後、また学校に来て、「実行委員をやめる」と言い出しました。夏休みの間、せっかく何日も何日も話し合っていたのに、最後の最後で誰かがやめてしまったというのを、誰もが認めませんでした。なぜなら、それを認めてしまふと怒りよりも悔しさが残る気がしたからです。その日はもう遅いので一旦解散することにして、次の日に話し合うことにしました。

そして次の日、やめると言い出した人も含めて話し合いをしました。しかし、その話し合いですぐに解決できるようなものではありませんでした。泣く人も何人かいたけど、最後にはその人も実行委員を続けることになり、こうして無事に二学期を迎えることができました。

二学期が始まりました。一、二年生も三年生にちゃんといてきてくれて、難しいソーラン節やフォークダンスも本番には間に合わせることでできました。

本番は、雨が降ったりやんだりの天候でした。そして、ソーラン節の時には、始まりはばらばらと雨が降っていました。しかしだんだん晴れてきて、フィニッシュの時には、真夏のような太陽が見えました。私は踊りながら、夏休みにあった出来事を思い出して泣きそうになりました。

そして、ソーランやその他の種目が終わり、閉会式になりました。得点が発表され、私も入っていた赤組が優勝することができました。私は列の一番前にいましたが、うれしさと達成感でわんわん泣いてしまいました。こうして私たち三年生にとって最後の合同運動会が終わりました。

私は夏休みにけんかをしてよかったと思います。なぜなら、得たものがたくさんあったからです。一度でも本音で言い合うことができ、目に見えない何かを私たちの心に残すことができたからです。それはこれから先でも大切なものだと思います。

心の底から信じられ、ありのままの自分をさらけ出せる人が、もしあなたにいないのなら、そんな人を一人でもいいからつくってください。今すぐではなくてもいいと思います。たとえ何年かかってでも、お互いに信じ、信じられる人を見つけた方が、絶対にいいと私は思います。